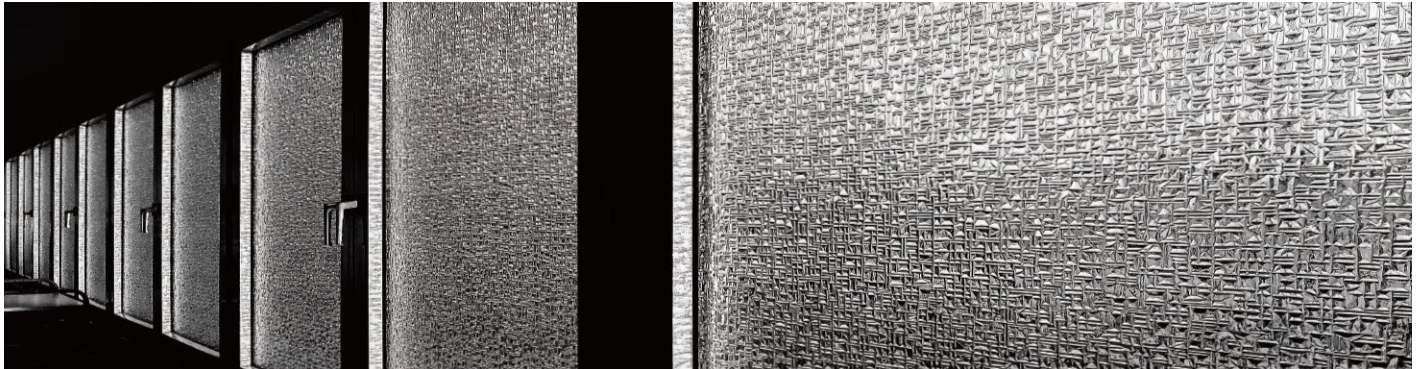


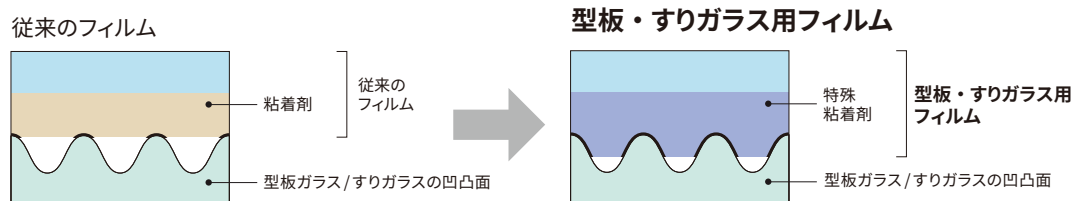
3M™ Scotchtint™ 型板・すりガラス用フィルム



1 型板ガラス/すりガラスの凹凸面に施工可能

施工時間を短縮！

一般的なウインドフィルムは平滑面（型板ガラス/すりガラスは屋外面）にしか施工できませんが、同製品は特殊粘着剤の機能により型板ガラス/すりガラスの凹凸面に施工が可能です。同製品を使用することで外部高所作業にかかる架設費用削減や、天候の影響による工期遅延を防止することができます。



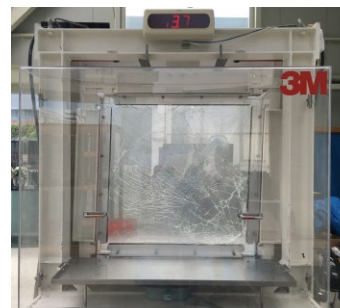
2 型板ガラス/すりガラスが割れた際の飛び散りを低減

飛散防止で安全

JIS A 5759 飛散防止試験に加えて、型板ガラス/すりガラスへの飛散防止試験をクリアすることを実証済です。

型板ガラス/すりガラスに貼付時の飛散防止試験

- 試験内容：層間変異試験、およびショットバック試験
- 使用したガラス：型板ガラス 霞（かすみ）厚み4mm
- 試験条件：JIS A 5759 に準じる
(合格判定は、JIS A 5759 に則り厚み5mmに換算した重量により判定)
- 試験場所：スリーエムジャパン（株）相模原事業所内
- 試験結果：両試験内容ともに合格



層間変異試験

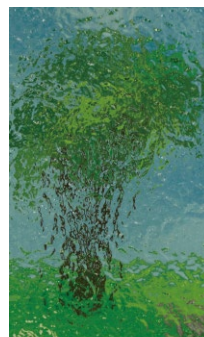


ショットバック試験

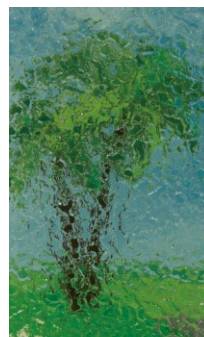
3 見え方の異なる3タイプをラインナップ

プライバシーを強化！

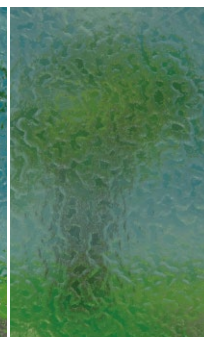
透過率の異なる3タイプの製品から、最適な目隠し性能をお選びいただけます。



フィルムなし（霞4mm厚）



フィルムあり（左から透明・マット・ミルクイーを霞4mm厚に貼付した場合）



製品仕様 / 光学特性

名称	製品番号	フィルム全厚剥離紙除く(μm)	PET基材厚(μm)	遮蔽係数	日射熱取得率	日射			可視光線		紫外線透過率(%)	熱貫流率(W/mK)	ロール幅(mm)	ロール長さ(m)
						反射(%)	透過(%)	吸収(%)	反射(%)	透過(%)				
透明フロートガラス (3mm厚) ガラスメーカー資料による数値です。(2009年7月現在)		—	—	1.00	0.88	8	86	6	8	90	71	6.0	—	—
型板・すりガラス用フィルム 透明	DC000	256	100	0.96	0.85	8	81	11	9	90	0.2	6.1	1180	20
型板・すりガラス用フィルム マット	DC001	268	100	0.93	0.82	9	77	14	9	84	0.2	6.1	1180	20
型板・すりガラス用フィルム ミルキー	DC002	248	100	0.75	0.66	17	57	26	21	60	0.2	6.0	1180	20

- 透明フロートガラス (3mm厚) にフィルムを貼って測定しています。●測定方法はJISA 5759に基づいています。●フィルム全厚及びPET基材厚は設計上の値です。
- 上記の値は、保証値ではありません。●上記の値は、表示している最小桁の一つ下の桁を四捨五入した値です。(例：測定値0.02→表示している値0.0)
- 製品の仕様等は改良のため、予告なく変更する場合があります。

遮蔽係数

- 3mm厚透明ガラスの日射熱取得率 (0.88) を1とし、ガラスにフィルム貼付した場合の日射熱取得率の割合を表します。値が低いほど遮蔽効果が高く、冷房負荷の低減に効果があります。

日射熱取得率

- ガラスに入射する日射を1とした場合、室内に流入する熱量 (透過と室内側再放射の和) の割合を示す数値です。

透過率・反射率・吸収率

- UV (紫外線) や明るさ (可視光線)、暑さ (日射) の度合いを表しています。
- 日射反射率の大きい製品は熱線反射タイプ、日射吸収率の大きい製品は熱線吸収タイプとなります。
- 可視光線透過率は室内に入る明るさの指標になり、50%以上であれば暗くなった感じはありません。
- 可視光線反射率は屋外観の目安になり、高いほどミラー感が高まります。
- 紫外線透過率が低いほどUVカット効果は高く、褪色を抑制します。

ご採用にあたってのご注意

- 日射が当たるガラスにウインドウフィルムを貼ると、ガラスの日射吸収率が高まりガラスの「熱割れ」が発生する場合があります。ご使用前に必ずガラスの「熱割れ」が発生する可能性がないことをご確認ください。
- ウインドウフィルムは複数の薄膜が積層した構造を持つため、光の干渉を起こします。このため室内蛍光灯や太陽光の反射光が虹模様に見えることがありますので、あらかじめご了承下さい。
- ご使用前に必ずサンプル施工をして、外観が問題ないことをご確認ください。

施工後のご注意・日常のご注意

- フィルム面に堅いものが接触すると表面に傷が付く可能性があります。金属などで引っ掻いたりしないようご注意ください。
- フィルム表面にステッカーやシールを貼ったり油性ペンなどで書いたりしないでください。

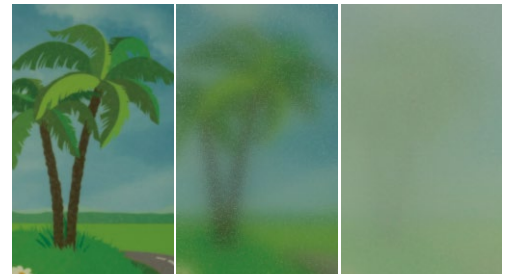
一般的なウインドウフィルムと異なる注意点

- 飛散防止性能を最大限に発揮するためにガラス面を十分に清掃した状態で施工してください。
- ライナーを少しずつ剥がしながらドライ貼り施工してください。
- ガラスを傷つける恐れがありますので、ガラス上でのカットではなく、4辺プレカットを推奨します。
- 施工後のフィルムを剥がすことは出来ませんが、施工環境や経時によりガラス表面に粘着剤が残る可能性があります。
- フィルムを貼ることで目隠し性や透明性が変化することがありますので、事前に剥がせるサイズの小面積でサンプル施工をし、ご確認ください (表面未清掃の場合は施工直後であれば糊残りしにくく剥がしやすいです)。

貼付例：すりガラス3mm厚に貼付した場合



フィルムなし
(すりガラス3mm厚)



フィルムあり (左から透明・マット・ミルキーをすりガラス3mm厚に貼付した場合)

3M™ スコッチテント™ ウインドウフィルムのご用命は、お気軽に弊社特約店へ

- 3M、Scotchint、スコッチテントは、3M社の商標です。
- 製品の仕様等は改良のため、予告なく変更する場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。
- 本書に記載してある事項、技術上のデータ並びに推奨は、全て当社の信頼している実験に基づいていますが、その正当性もしくは完全性について保証するものではありません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任の全てを負うものとします。

2016年11月発行

3M

スリーエム ジャパン株式会社
リニューアブルエナジー事業部

<http://www.mmm.co.jp/cmd/scotchint/>

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2016. All Rights Reserved.
RED-613-A(111605)ND

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

0570-012-123

8:45 ~ 17:15 / 月~金 (土日祝年末年始は除く)
全国どこからでも市内料金でご利用いただけます